



みなみの風

あいさつ・つたえあい・チャレンジが自慢
～優しい言葉があふれる坂下南小学校～

教育目標の具現化を目指して

390名の子ども達とともに、坂下南小の令和4度がスタートしました。4月より本校校長となりました湯田眞佐利です。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中での教育活動となりますが、本校の教育目標『「学びあう」「競いあう」「認めあう」未来を切り拓くばんげっ子の育成』を目指し、職員一同、心をつなげて力を尽くして参ります。本校教育に対する温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

始業式でこんな話をしました

皆さん進級おめでとう。学年がひとつずつ上がり少しお兄さん・お姉さんになりましたね。

南小の教育目標は、「学びあう・競いあう・認めあう 未来を切り拓くばんげっ子の育成」です。「つながりながら学ぶ子」「美しい生き方を考える子」「自分の心と体を育てる子」を目指して、先生方も、皆さんも、この1年がんばります。この目標を達成するためにキャッチフレーズをつくりました。それは「あいさつ・つたえあい・チャレンジ」です。南小のA(あいさつ)T(つたえあい)C(チャレンジ)と覚えてください。

一つ目のあいさつ。「おはようございます。こんにちわ。ありがとうございます。」など心のこもったあいさつができる子は、「美しい生き方を考えられる子」です。

二つ目のつたえあい。自分の考えや想いを人に伝えたり、人の考えや想いを受け止めたりできる子は、「つながりながら学ぶ子」です。

三つ目のチャレンジ。目標に向かって挑戦しやり遂げたり、失敗してもやり直せたりする子は、「自分の心と体を育てる子」です。

あいさつ・つたえあい・チャレンジの力をパワーアップするために、ぜひ覚えておいてほしいことがあります。それは、

- ① よい目…人のよいところを見つけてあげられる目
- ② よい耳…人の話をよく聞いてあげられる耳
- ③ よい心…人の気持ちを感じ取ってあげられる心
- ④ よい口…人を元気にする優しい言葉・温かい言葉が出る口

を持つことです。

遅くともゴールまで一生懸命がんばって走っている友達を見たら、皆さんはどうしますか？きっと「がんばれー」って応援するよね。そして、ゴールしたら拍手してあげるよね。そうしたことができる子が、「よい目」、「よい耳」、「よい心」「よい口」を持った子です。これで、必ず「あいさつ・つたえあい・チャレンジ」の力はパワーアップします。

今年は60人のかわいい1年生が入学してきます。ぜひ、この「よい目」「よい耳」「よい心」「よい口」を忘れず、先輩として「あいさつ・つたえあい・チャレンジ」のお手本を見せてあげてください。

これから1年間、友達や先生と心をつなげて力を合わせ、素敵な南小学校にしていきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症対策について

感染の再拡大が危惧され、油断できない状況が続いています。

子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、以下の内容についてよろしくお願いいたします。

- ◎ 「朝のげんき調べ」に記入し、忘れずご提出ください。
- ◎ お子様やその家族に発熱等、新型コロナウイルスの感染が疑われる症状がある場合には、登校させずに、自宅で休養（待機）させてください。
- ◎ お子様またはその家族や関係者が、新型コロナウイルスに感染した場合や、濃厚接触者に認定された場合には、速やかに学校にご連絡ください。
- ◎ ご家庭でも感染防止対策を行ってください。

【職員紹介】

『信頼』を基盤とし、「持ち味」と「支え合い」+優しい言葉を合い言葉にがんばって参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

校長	湯田眞佐利
教頭	眞部 弘之
教務主任	大須賀恵美子
研修主任	佐藤美知子
生徒指導	根本奈緒子
英語専科	松本 優佳
1年1組(主任)	佐藤 晃子
1年2組	板橋真智子
2年1組(主任)	佐藤美知子
2年2組	湯田 結里
2年3組	佐竹美紀子
3年1組(主任)	五十嵐裕美
3年2組	五十嵐和恵
4年1組(主任)	豊島正一郎
4年2組	高橋 潤子
5年1組(主任)	鈴木 洋子
5年2組	齋藤 芳夫
6年1組(主任)	小林 雄一
6年2組	増子 優花
6年3組	渡部 朋恵
はぐくみ学級1組	湯田 佳代
はぐくみ学級2組	伊藤 詩菜
はぐくみ学級3組	新田 修平
あすなろ学級	本多 朋恵
きらきら教室	佐藤 善信
学習支援	大堀 州央
学習支援	戸内 淑子
養護教諭	石原 暁子
主査	佐藤 祥江
初任者研修後補充	五十嵐睦子
支援員	慶徳富美子
支援員	鈴木 純子
支援員	遠藤 理香
スクールサポートスタッフ	武藤亜矢子
用務員	鈴木 幸枝
用務員	鈴木アヤ子
用務員	薄 一芳
用務員	佐藤 博志

学校だより「みなみの風」

「子ども達のがんばる姿や学校の様子をたよりという風に寄せ、ご家庭や地域にお知らせしよう。」という思いを込めました。ご愛読いただければ幸いです。